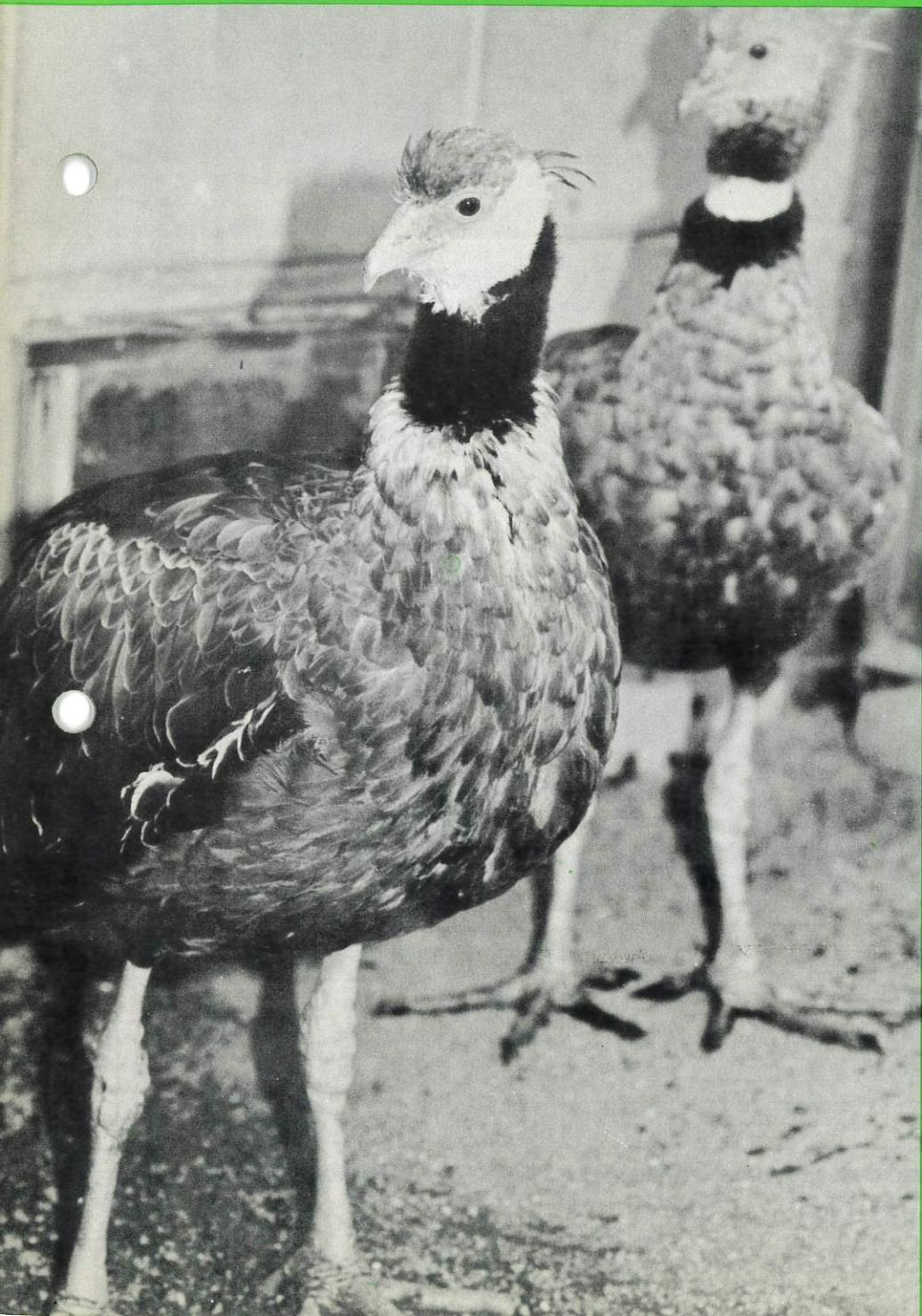


なきごえ



1974

6

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

小林桂助

アイヌ語で小さいものをボンという。北海道産のアイヌ犬の仔をもらいボンと名付けてペットとしていたのは小学校の1年生の頃であった。毎日餌をやるのは私の役目であったので私によくつき、これが動物と私との出会いの最初であった。

3年生の頃父が私のためにメジロを1羽買ってくれた。これも私が世話をしなければならぬが、ボンは1日位餌をやるのを忘れても私の顔を見れば尾を振って喜んでいるがメジロはそうはゆかない。1日でも餌を忘れてと死んでしまう。今にして思えばメジロを飼うことにより毎日の仕事を忘れず果すようにとの父の教育であったのであろう。所がこの1羽のメジロから私と鳥との付き合いが始まりノジコ、オオルリなど つぎつぎに鳥を飼うようになった。その頃からカモ類にも興味をもつようになり、庭の池をかこんで100㎡あまりの禽舎を建ててもらった。ヒドリガモ、コガモ、オナガガモ、オシドリなど10種あまりのものを同居させて楽しんでた。当時は今日の様に図鑑や参考書がなく鳥の名前を知るのに苦労したが、少し名前がわかる様になると生意気になって来た。

6年生の頃である。ある雑誌にキンバラ科の鳥は日本にはいないと書いてあった。勿論天然の分布のことであるが、子供の私にはそれが判らなかつた。当時は現在の羽田空港付近が一面のヨシ原であり、秋になるとベニスズメやキンバラの数十羽の群が住みついて巣を作っていた。生意気盛りの私は早速筆をとりキンバラ科の鳥が日本にいないというのは間違であるという意味の文を投稿して得意だった。今にして思えば全く汗顔の至りである。今までに色々な雑誌に論文や随筆を投稿し、単行本も10冊以上書いたが6年生の時のこの記事は私にとっては公表した原稿第1号である。

当時私の家は横浜の郊外にあり、禽舎にはコジュケイ、ハッカ、サケイなども飼っていた。大正12年9月1日の関東大震災により禽舎は倒壊し鳥は全部逃げてしまった。所が翌年の春にはコジュケイがヒナを連れて庭に遊びに来る様になった。禽舎から逃げたものが付近で繁殖したのである。数年後には付近にコジュケイが急激にふえ、至る所でなき声を

聞くようになった。今日では全国的に拡がりハンターの獲物として喜ばれているがそのもとは私の逃がした2番であると思っている。

昭和の初期に私は10日あまり北海道、大雪山の山小屋に滞在したことがある。夜になるとイロリを囲んで山の番人やアイヌの猟師から山の動物の話の聞くのが楽しみであった。この時山番の1人から大雪山には他で見たことのない動物がいるという話を聞いた。ウサギのようでもあるが耳が長くない。ネズミに似た所もあるが尾が短い。昼間は見られないが早朝や夕方岩の上に出て来て甲高い声で「ピッ、ピッ」となくというのである。私は瞬間アルプスにいるマルモタの仲間ではないかと思ったが、とにかく正体をつき止め度い一心であった。そこで猟師のもっていたトラップを借り、その動物の出没するという岩の近く数カ所に仕掛けた。翌朝行って見ると、その不思議の動物というのが見事にかかっていた。想像していたマルモタよりはるかに小さくノウサギの幼獣に似ている。早速剥製に作りあげて持ち帰り、岸田久吉氏（故人）に同定を依頼した。調査の結果北極圏の周囲部に広く分布している Ochotona の1種であることが判ったが日本からはこの属のものは初記録であり、同氏により新種として発表された。ノウサギの生後20日目位のものに似ている所からハツカウサギ、それに発見者である私の名前を冠し、コバヤシハツカウサギと命名された。

私の家業は薄荷（ハッカ）の製造と貿易部ではフランスからウサギの毛皮を輸入している。コバヤシハツカウサギは小林薄荷兔に通ずることになり、期せずしてこの1種の動物が私の名前と取扱商品2種とをあらわしていることになり、私にとっては最も印象の深いものとなった。（Ochotona は英名 Piping Hare をそのまま邦訳し、現在では一般にナキウサギといわれている。）

（日本鳥学会評議員）



なきごえ6月号もくじ

動物と私	2
ハナグマの赤ちゃん	3
動物園グラフ	4・5
園内の野鳥観察	6
中国からの動物たち	7
各府県の指定の鳥獣調べ	8・9
動物相談室	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“クロエリサケヒドリ”

南アメリカの水辺にすんでいる鳥です。

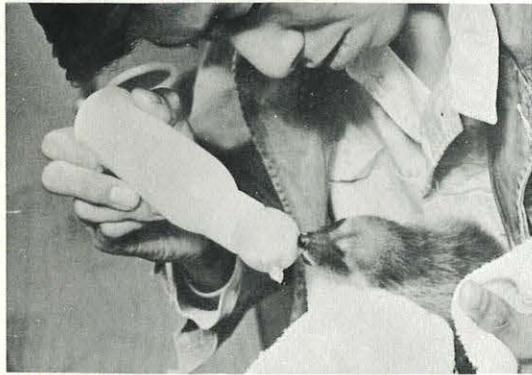
水中でも好んで入るようです。両翼にはげづめのようなものが残っています。



“ハナグマの赤ちゃん”

4月8日に5頭生まれたうち2頭の赤ちゃんハナグマが長い間産室で親の乳を飲んで大きくなっていましたが、この頃になってやっと母親と運動場について出るようになりました。母親は大変なかわいがりようです。

動物園グラフ



↑ アライグマ
生まれて、すぐにひきとられて、
ミルクで育てられました。今では
すっかり大きくなりました。

“人工哺育”

動物の母親のかわりに飼育係の手で乳を飲ませて育てることを人工哺育といいますが、今まで大きいものではゾウやラクダを育てました。最近では、小さな動物をいろいろお乳で育てました。中には、うまくいかなかったものもありますが、ここで写真で御紹介しましょう。



↑ チョウセンオオカミ
残念なことに5日ほどで死んで
しまいました。

ノウサギ

↓ 乳しかのまないうちに、拾われてきました。



4・5月の動物園日記

- 4/26. タヌキの寄贈がありました。耳などにダニがたくさん付いているので、すぐ駆虫してやりました。
- 27. サイクスザル(メス)1頭の寄贈がありました。キソウマが軽い疝痛を起こしているようなので治療しています。
- 28. ビューマが3頭生まれました。

- 30. シマウマが1頭(メス)誕生しました。トムソングゼルが1頭入園しました。
- 5/3. ゾウガメの断食が依然続いており、何とか食べるようにならないかと思案しています。アオバズクが2羽保護されて来ました。
- 4. 4月2日産卵のインドニシキヘビの卵はすべて無精卵でした。
- 5. ゾウの目方を計る会が催されました。この日は今年最高の18万5千人の入場者がありました。
- 8. パーバリシープが2頭誕生しましたが、惜しいことに仲間から突かれて翌日2頭共死亡しました。
- 10. ムササビ2頭が保護されて来ました。
- 11. マレーグマの交尾が見られました。

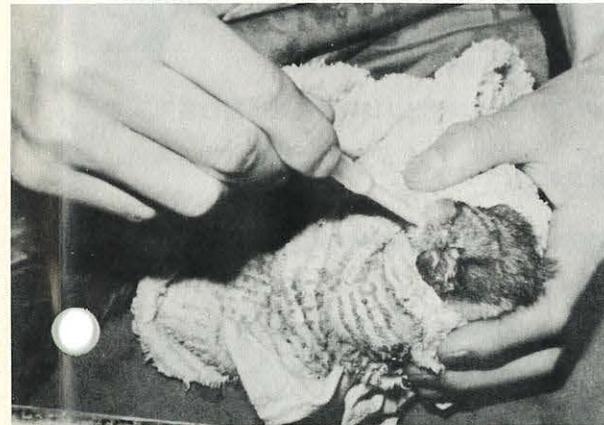
ライオン

ライオンは毎年何頭も人工哺育して
いますので、係も手慣れたもの。



ムササビ

続けて4匹も持ち込まれて、大忙し、
つめが鋭いのでぐるぐるまきでお乳を
飲まされている。



↑ テナガザル
少し大きくなってから動物園にもらわれて
きましたが、ミルクが大好き。

テン 赤はだかの赤ちゃん。
10日ほど生きていたのですが、
ついにダメでした。



- 12. エランド(オス)が生まれましたが虚弱児で起立できず、翌日死亡しました。ヨーロッパフラミンゴが産卵しました。
- 13. キンイロキンケイとギンケイがキャピラリア症で死亡しました。すぐに園内のキジ類の駆虫を実施しました。
- 14. ノウサギ1頭の寄贈がありました。今年生まれた仔ヤギがオス親にけられて骨折したため治療しています。
- 15. キューバフラミンゴが1ヶ産卵しました。アシカが死産しました。
- 16. キングペンギンなどを冷房舎へ移しました。暑い夏の間はここで過します。

- 18. アカミミガメ2頭の寄贈がありました。
- 19. シロクマの駆虫を行いました。園内で「ものまね鳥コンクール」が行われ、九官鳥やオウム類などが関西一円から多数集まりました。
- 20. タヌキが3頭生まれましたが、いずれも親に咬み殺されました。
- 21. キューバフラミンゴが1羽ふ化しました。
- 22. 盲学校の生徒20名が来園し、ウサギ、ヤギ、ニワトリなどに触れて勉強してもらいました。
- 23. パーバリシープの削蹄とムーアモンキーの治療に麻酔銃を使用しました。
- 25. ケープペンギンが換羽中です。
- 26. ニホンザルの赤ちゃんが生まれました。

園内の野鳥観察

大川光雄

北園では、中獣舎、ライオン放飼園、トラ放飼園、小獣舎、の裏の所に、ムクドリ、ヒヨドリ、メジロ、ツグミ、ハシブトガラス、モズ、キジバト、アオジなどが来ます。

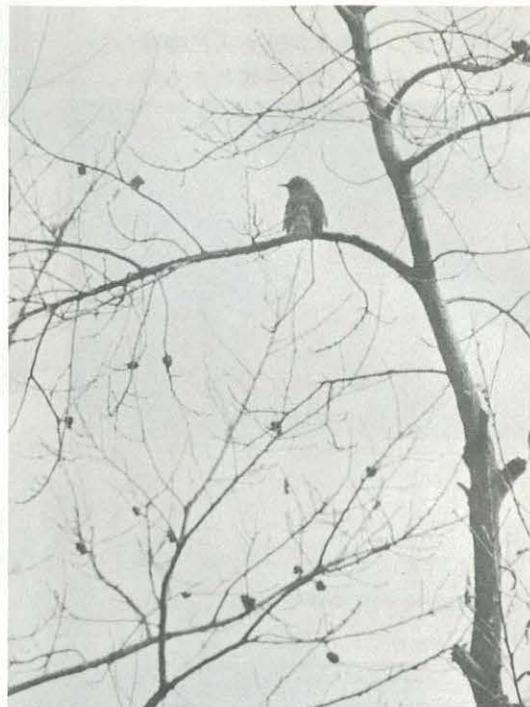
シマウマ放飼園、バーバリーシープ、爬虫類舎、ヒョウ、ピューマ、ワートホッグ、バク、サイ放飼園、走鳥類放飼場、カバ舎、の一带にはムクドリ、ヒヨドリ、メジロ、等がよく木の実を食べに来ます。ムクドリなどは、走鳥類の餌などをスズメ、ハトなどとよく一緒に食べているのが、見られます。

ペンギン舎、カモシカ園、水きん放飼場、フラミンゴ舎、ツル舎、ラクダ舎、カンガルー放飼園の所には、ムクドリ、モズ、コジュケイ、キジバト、キセキレイ、セグロセキレイなどがよく見られます。

北園側で繁殖した鳥は、トラ舎、ライオン舎の裏でモズが、サングジュの木の又の所で四羽、ヒナが



カモシカ園にきたムクドリ



トラ舎のうらにきたヒヨドリ

生まれました。ムクドリは阪神高速道路の高架下で多数繁殖しているようです。

南園では、休憩所付近、日本庭園の所にカルガモ、ムクドリ、ヒヨドリ、メジロ、ウグイス、キセキレイ、セグロセキレイ、ハシブトガラス、モズなどがいます。象舎、キリン舎、猿アパートの付近にモズ、メジロ、などが見られます。

熊舎、シロクマ舎の所には、メジロ、コルリ、ヒヨドリなどがいます。この野鳥観察は昨年の四月から今年の四月までの記録です。

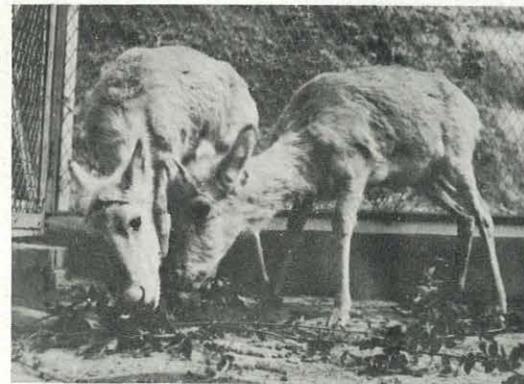
(動物園飼育係)

中国からの動物たち

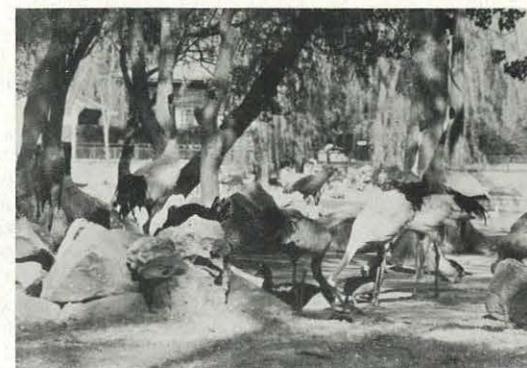
☆上海市西郊公園から珍獣や珍鳥がやってくるようになりました。これは、本年4月18日、大島靖大阪市長が、上海市を訪れ、同地で開催された大阪上海友好都市提携宣言大会に出席して両市が晴れて友好都市提携を結ぶことになったのですが、この両市の友好交流の第一歩として、動物交換を行うことになったわけです。上海市西郊公園からは、クロオオカミ(黒狼)1番とマナヅル(白枕鶴)1番が贈られてくることになっています。そして、天王寺動物園からは、カリフォルニアアシカ1番と、フンボルトペンギン4羽を贈ります。

上海から贈られるクロオオカミは100年前にチベットで最初に発見された非常に珍しいオオカミで全身が真黒で眼だけが白く光りクロヒョウのように精悍に見えます。体長は約1.2メートルで、チョウセンオオカミくらい大きさがあると思われます。また、マナヅルは、日本では、特別天然記念物として保護されている貴重なツルです。大阪では、戦前にいた記録があり、繁殖もしていたようです。

☆北京動物園とも動物交換の話があり、動物園も喜んでこの話を進めています。これは、昨年9月福山



モウコレイヨウ



タンチョウ、マナヅル、クロヅルなどの遊ぶ北京動物園の水禽、鶴舎(毎日新聞提供)

助役や大阪港湾関係者が商業港の大阪港のPRをかねて中国を訪れたとき、天王寺動物園の希望を伝えてもらったところ喜んでお受けしたいとのことで、話が進みまとまったものです。北京からは、タンチョウ1羽とモウコレイヨウ1番が贈られてくる予定です。また天王寺動物園からは、アカカンガルー1番とルリコンゴインコ4羽を贈ります。

モウコレイヨウはもちろん日本では初めてという、珍しいカモシカです。これは、その名のとおり中国の北部にいるカモシカで、大変おく病な性格です。日本での輸入検疫も長く、無事入園することを祈るばかりです。タンチョウはめすで、当園のおすと一しょにする予定です。若い元気なめすが贈られてきて、交尾をし産卵するといいですね。タンチョウは特別天然記念物で、大切に保護されています。近畿の動物園にたゞ1番のタンチョウということになり、大切に、繁殖させてやりたいと思っています。

この夏に、大阪で中華人民共和国展覧会が催されますが、これらの動物たちがこの時期にあわせて贈られてくるか、この秋の日中間を飛ぶ定期航空路の開設後に空輸されるか、まだはっきりしていませんが、大変楽しみです。(樽本 勲)

県獣・県鳥の制定状況調べ

各都道府県では、その県を代表する鳥獣を指定して、その保護を呼びかけていますが、ではどの府県が、どんな鳥獣をどんな理由で指定したのか、地方行政調査会の資料からお知らせしましょう。(昭和49年3月1日現在)

都道府県	種類	名称	意義 または 選定の理由
北海道	鳥	タンチョウ	タンチョウは気品が高く美しい姿で古くから縁起のよい鳥とされ、本道がその生息地とされている。
青森	鳥	ハクチョウ	平内小湊・むつ市大湊、北津軽郡十三湖など県内各地に飛んでくる白鳥は、季節をつける代表的な鳥として県民に親しまれている
岩手	鳥	キジ	県内いたるところで見られる。体が大きいうえ美しく、肉も美味。繁殖力も大きく、近代の狩猟鳥としての要件を備えている。解禁時の捕獲量は日本一
宮城	獣	シカ	シカは野生獣のうち最も親しみ深く人になれ易いうえ気品がある。本県では金華山島と牡鹿半島に生息しているが、金華山島の鹿は黄金山神社の神鹿として古くから県民に親しまれている
	鳥	ガン	ガンは別名をかり、またはカリガネと呼ばれ昔から日本人に親しまれ多くの詩歌によまれ歌われ渡来期の規則正しさ、竿になり鍵になる飛行隊列の見事さ、郷愁をそそる鳴き声などの県民の情趣をそそり親しまれている。日本に渡来する音が本県に渡来する日本の野鳥のうちで屈指の長い尾の持ち主で、県内に広く分布し、県民に古くから親しまれているため
秋田	鳥	ヤマドリ	奥羽山脈朝日連峰、鳥海山一帯に多く生息して、県民から広く親しまれているため
山形	獣	カモシカ	美しく平和で驚愕の契りといわれる仲間つむじ鳥であるため。県内の生息もふえてい
福島	鳥	オシドリ	ヒタキ科の鳥で特にオスは美しく、森林の害虫を好んで食べる。県が数種の候補をあげた中から最高点で選ばれた
茨城	鳥	ヒバリ	益鳥として広く県内に生息し多くの人に親しまれ、「麦畑にひばり」といわれているように日本一の麦を生産している茨城の鳥としてふさわしいため
栃木	獣	カモシカ	鳥獣保護事業の一つとして指定。本県の日光・足尾・塩原等に多く生息し、性質がおとなしく、天然記念物にも指定されており、県獣として適当である
	鳥	オオルリ	鳥獣保護事業の一つとして指定。本県の日光・那須・塩原等に夏鳥として多く渡来する。日本3大鳴鳥の一つであり、姿も美しく県鳥として適当である
群馬	鳥	ヤマドリ	四季を通じて生息し広くから親しまれ、かつ優雅にして気品を備え県民性に似た性格をもっている
埼玉	鳥	シラコバト	山バトの仲間でも全国でも埼玉の越谷付近だけに生息する。また国の天然記念物となっている
千葉	鳥	ホオジロ	全県的に最も多く生息して、森林害虫の天敵で有益な種類であり、春から秋にかけては高い木の梢にとまって澄みきった声でのさえづりは特に美しく一般に親しまれている
東京	鳥	ユリカモメ	ミヤコドリとも呼ばれている小型のカモメで、羽は白く、くちばしとあしが朱色の姿の美しい鳥。古来詩歌や絵画の題材となり、江戸とは浅からぬ縁がある。10月下旬から11月上旬にかけて、シベリア東北部、カムチャッカ方面から渡来し、4月ごろまで東京湾、隅田川、多摩川などに群をなして飛びかうのが見られる
神奈川	鳥	カモメ	県内の海に広くみられ国際的にもなじみがあるので、日本の玄関として本県を象徴するのふさわしい
新潟	鳥	トキ	世界中で佐渡に15羽の生存が確認されているのみ
富山	獣	越の犬	越の犬は古くから越前・越後・越中に生息し、粗食に耐え、かしくて、人によく慣れ忠実であり勤儉温厚でシンの強い富山県人を象徴するようであるため
	鳥	雷鳥	霊峰立山に住んでいることから「立山神のお使い」として愛され、きびしい山岳地帯にすむので、かん難辛苦に耐える越中魂を象徴するようであるため
石川	鳥	イヌワシ	霊峰白山の上空を悠々と飛翔しているイヌワシ。日本産のワシの中では最も大きく翼を広げると2m以上にもなる。英名では、ジャパニーズ・ゴールデン・イーグルと呼ばれている
福井	鳥	つぐみ	毎年晩秋になるとシベリヤから日本海の荒波を越えて多くのつぐみ、が本県に渡ってくる。このことを通じて鳥獣愛護思想の普及を図ろうというもの
山梨	獣	カモシカ	高山のきびしい自然に耐えて生きていることから、県民の「忍耐努力」を願うものとして選定
	鳥	ウグイス	里にも山奥にも生息し、他の鳥のひなを育てるといふやさしい習性をもっている。このことが県民の「明朗と慈愛」をあらわすものであるため
長野	獣	かもしか	針葉樹林地帯に住み、木の芽や葉を食べている。きびしい自然にたち向う姿は孤独で崇高である(特別天然記念物)
	鳥	らいちょう	2400m以上の、はい松のある岩石地帯に住んでいる。名前は、雷が鳴るような曇ったとき、霧の多い時に見かけることからきている(特別天然記念物)
岐阜	鳥	ライチョウ	ライチョウ(キジ科)は、日本アルプス・白山などの標高2400m~3100mぐらゐの高山帯に生息し、体長は18~20cm。昭和30年国の特別天然記念物に指定され、種属の保護を図っているもので、高山の雷鳥ともいわれる気品ある野鳥

静岡	鳥	さんこうちょう	日本へは4月頃渡ってきて、県内では富士山のふもとに多く住んでいる。全国の鳥のうち、本県の鳥としてふさわしい
愛知	鳥	このはづく	「声のブッポウソウ」の異名があり、三河鳳来寺山は、その鳴き声の名所として全国に知られている
三重	獣	ニホンカモシカ	カモシカは国の天然記念物として保護されている牛科の貴重な獣であり、県下の鈴鹿、布引、大台山系に広く生息し、性格は優しく、動物学的にも価値が高い
	鳥	シロチドリ	県下の海岸、河口に広く分布し、姿は可れんで、鳴き声は優しく群飛が美しい。古来、詩歌にも読まれ、昔から県民によく親しまれている。伊勢湾沿岸の環境をはかる指標鳥として意義がある
滋賀	鳥	カイツブリ	古くから琵琶湖に多数生息し、古文書などに琵琶湖のことを「にほのうみ」と記されたものが数多く残っている
京都	鳥	オオミズナギドリ	舞鶴市冠島に2月から11月まで生息する渡り鳥で、およそ4万羽すんでいる。陸上では木に登らなければ飛べないのが特徴。この地方の漁師は、魚群の位置を教えてくれるこの鳥を「サバ鳥」と呼び、大切にしている
大阪	鳥	もず	府下に広く生息し、特に大阪の歴史のうえで仁徳陵と関係があり、現在その辺の地名として残されており、府民の親しみが強い
兵庫	鳥	こうのとり	日本で本県の豊岡地方にだけすむ、美しく優雅な鳥
奈良	鳥	こまどり	日本三鳥の一つ。姿と声が特によく、高山の森林中で繁殖する保護鳥。県内には多数生息し、昔から「吉野ゴマ」の名で有名
和歌山	鳥	めじろ	野生鳥を保護し、自然の環境を美しく保存するため
鳥取	鳥	おしどり	県内にかなり生息しており、姿は美しく保護鳥でもある
島根	鳥	オオハクチョウ	冬季中海に渡来し、優雅な姿を湖面に浮かべ、県民に親しまれるハクチョウを代表鳥として指定した
岡山	鳥	ほととぎす	昔から文学的にも有名であり、季節感も豊かであるため
広島	鳥	あび	瀬戸内海の漁業と深いつながりがあり、その歴史は300年前から現在に至っており、産業との結びつきが深く、県民に親しまれているため(あび群落海面は天然記念物)
山口	獣	本州ジカ	近年、国土開発は野生鳥獣の生息適地を著しくせばめ、その生息数も減少の傾向にあるところから、鳥獣保護に関する啓蒙の一環として野生鳥獣保護思想の普及を図るため、県民になじみ深い鳥獣を選定
	鳥	ナベヅル	本州ジカは豊浦郡豊田町(華山)長門市油谷町、豊北町(天井嶽)周辺に主として50頭内外生息し、最近その数が減少しつつある。ナベヅルは、熊本郡熊毛町大字八代に、シベリア方面から毎年10月中旬頃100羽内外が飛来し、5月上旬頃シベリア方面に帰る。このナベヅルは、その渡来地とともに30年国の特別天然記念物に指定されている
徳島	鳥	しらさぎ	美しい純白の姿は、平和のシンボルとして、県民に親しまれ多く生息しているため
香川	獣	し	小豆郡内という限られた地域に保護されていることは全国的に珍らしく、「ホンシュウシカ」として学術的に貴重なもので、他の野生獣類に比し最も気品があり、県民の象徴として特にふさわしい
	鳥	ほととぎす	県民性にふさわしく非常に理知的な野鳥で県下に広く生息しているため、一般に最もよく知られている
愛媛	獣	ニッポンカワソコ	現在では本県のほか一部の県にのみに住む特別天然記念物であるため
	鳥	コマドリ	石鎚山系に多く生息し、美しい鳴声と端正なその姿は、野鳥愛護のシンボルとしてふさわしいため
高知	鳥	やいろちょう	熱帯地方から渡ってくる鳥で、5月頃県西部に少数渡来し、広葉樹林に秋まで生息する。繁殖地は、本県のほか済州島だけであるため
福岡	鳥	うぐいす	
佐賀	鳥	カササギ	「カササギ」はカラス科に属し、日本では佐賀平野地区を中心にすんでいる。豊臣秀吉が朝鮮半島に出兵したとき「カチ、カチ(勝ち勝ち)」となくこの鳥を従軍した佐賀藩主が瑞鳥として持ち帰ったものと、いい伝えられている。佐賀県民を代表する鳥として県民に親しまれている(天然記念物指定・保護鳥)
長崎	獣	九州シカ	「九州シカ」は、五島、平戸、小値賀、対馬に生息。150年前シーボルトによって、「日本シカ」として五島の「シカ」が世界に紹介された
	鳥	おしどり	諫早邸御書院の池は「おしどり」渡来地として有名で36年に国の天然記念物に指定され、本県になじみの深い鳥である。夫婦の愛情こまやかな「おしどり」は好んで清流に生息する「おしどり」は長崎県民愛情豊かな県民性のシンボルであり、清く正しく美しくのびてゆく長崎県の象徴でもある
熊本	鳥	ひばり	ひばりは益鳥であり、県下の山や野に多く、県民に親しまれている。また、愛鳥思想を普及するため
大分	鳥	めじろ	県内全域に生息しており、豊後メジロとして全国的に有名
宮崎	鳥	コシジロヤマドリ	キジに似たかっ色の姿の美しい鳥で、飛ぶことも走ることも速く、活動的である。日本では九州の南部にしかすんでなく、県内では主に南西部の山地にすんでいる
鹿児島	鳥	るりかけす	非常に珍しい鳥で、奄美大島と徳之島に住んでおり、天然記念物にも指定されている
沖縄	鳥	ノクチゲラ	① 沖縄本島の森林内にしか生息しない特殊なキツツキ科である ② 琉球新報によって一般公募され県の鳥として広く認識されている

今回は5月中の動物相談の中から3つほど選んでみました。

1. アオバズクについて

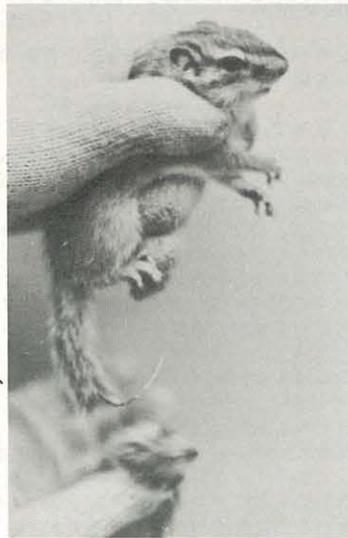
フクロウを捕えたがどうしたらよいかという相談を5月に入って5、6件受けましたが、動物園で保護するというので持って来てもらいましたところ、全部それらはアオバズクでした。これは日本の留鳥



ではなく、青葉の茂る5、6月頃に日本に渡来するためこの名が付いており、秋に又、東南アジア方面に帰って行きます。現在捕えられて保護されて来たアオバズクのほとんどは、その渡って来た疲れで落鳥し捕えられたものと思われまふ。この鳥は餌付けがむずかしく、断食を続けて死亡する場合もあるため、餌を食べないものには無理にでも肉片を口の中に入れてやらねばなりません。うまく餌付いて体力の回復したものから順次放鳥することになるでしょう。

2. リスの尻尾切れ

シマリスの尾が途中から切れたので診てほしいという相談が先日ありました。指で尾をつまんだ時にリスが逃げようとして尾が途中から切れ、骨が出ているというものです。飼主のたつての頼みに連れて来てもらうことにしました。連れて来たシマリスを診ると確かに尾が半分、皮膚、毛と共に抜け落ち、骨だけが残っていました。一般にリスでは尾の毛や皮膚は簡単に取れますが、



これは外敵などに捕えられた際にトカゲみたいに尾だけ捨てて逃げるためのものかもしれませんが、とにかく残った骨は切除し、焼烙してヨーチンを塗っておきました。しかし、ふさふさした尾のないリスというものは見ばえのしないものです。



3. 鳥の卵のふ化のさせ方

4～6月は鳥の産卵期ですが、4、5月に割とよく受けた相談が卵のふ化のさせ方で、ニワトリ、チャボ、キジ類がほとんどでした。一般にはふ卵器(恒温器)を用いるのですが、家庭ではそういう設備がないと思われるので、家庭でもできる簡単な方法も一緒に述べてみました。

まず、ふ卵器の置く場所ですが、温度変化が少く、換気が良好であり、直射日光の当たらない場所を選んで下さい。次にふ卵器内の条件ですが、下記に示す要点さえ守られれば大体うまくいくはずですよ。

- a. 温度は38.5℃～39.5℃位に保つ。
- b. 新鮮な空気を送れるようにしておく。
- c. 胚の発育のために1日3回位は転卵する。
- d. 湿度を60～70%位に保つ(水禽類では90%位にする)

以上がふ卵器内の条件です。次に家庭で簡単にふ化させる方法ですが、30cm立方位の箱に30W位の裸電球を入れ、底面に卵と水を入れた口の広い器をおき、卵の置く場所の温度が39℃前後になるように電球の高さを調節します。後は1日3回ほど転卵してやれば良いでしょう。

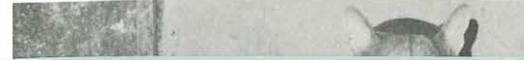
ふ卵器に入れた卵は1週間程で検卵し、有精、無精、中止卵などを調べ、無精卵、中止卵などは取り除く必要があります。参考までに下記に鶉鶏類と水禽類のふ化日数を掲げておきましょう。

種名	日数		
うずら	17日	やまどり	24日
こじゅけい	18日	くじゃく	28日
ほろほろちよう	28日	にわとり	21日
さんけい	24日	あひる	29日
きんけい	24日	がちょう	32日
ぎんけい	24日	(飼育ハンドブックより抜萃)	
きじ	24日		

(宮下 実)

☆ピューマの出産

4月28日に3頭のピューマが誕生しました。母親は昭和46年8月に本園で生まれたもので、初めてのお産でしたが3頭の仔をうまく育てています。今年1月に生まれた2頭と合わせて計8頭の大所帯となりました。3頭の仔はオス2、メス1です。



室にとじこもりきりでしたが、狭い寝室では退屈なのか盛んにチョコチョコと出て来て、走り回っています。名前はベベとビビと付けられました。

☆トムソングゼル入園

トムソングゼルが1頭(オス)入園しました。まだ子供で、もう少し体力が付いたところでカモシカ園に放すことになるでしょう。

☆ゾウの目方を計る会

夢が広がるショッピング……
近鉄がお届けします



上本町近鉄 TEL.(06)779-1231

アベノ近鉄 TEL.(06)624-1111

奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111



東京近鉄



心配させられましたが、その後順調に育っています。

☆ハナグマの赤ちゃんのお目見得

先月号でお知らせしたハナグマの赤ちゃん(2頭共メス)が、最近母親のチチと共に日光浴に出て来てお客さんの目を楽しませています。4月8日に生まれて以来寝

◇お知らせ◇

6月から動物園に休園日がもうけられ開園時間も変わりました。

休園日 12月29・30・31日

毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)

開園時間 3月～10月 9時30分～5時

11月～2月 9時30分～4時30分

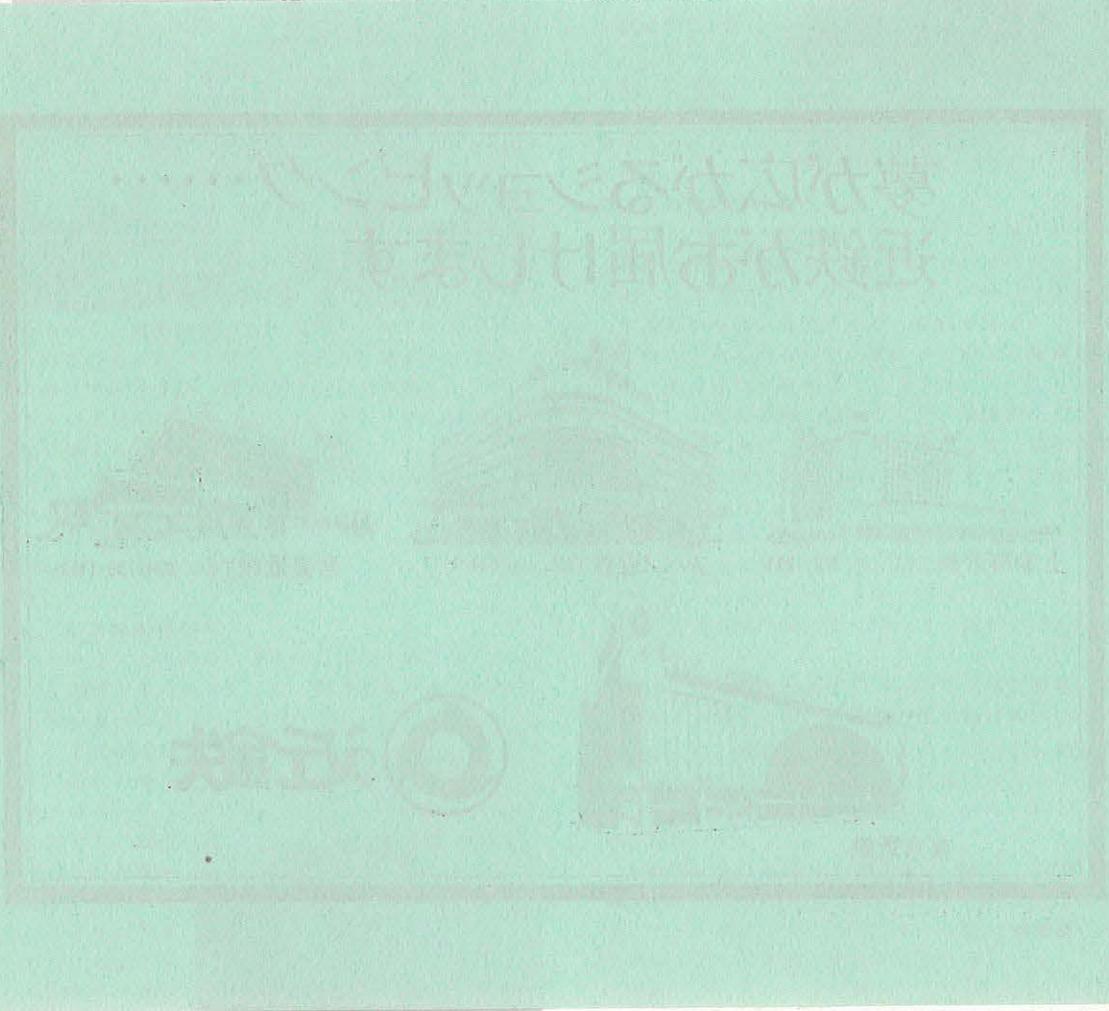
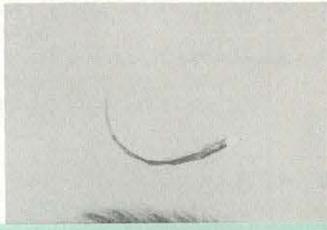
閉園30分前に、入場券の発売を終ります。

今回は5月中の動物相談の中から3つほど選んでみました。

1. アオバズクについて

フクロウを捕えたがどうしたらよいかという相談を5月に入って5、6件受けましたが、動物園で保護するというので持って来てもらいましたところ、全部それらはアオバズクでした。これは日本の留鳥

これは外敵などに捕えられた際にトカゲみたいに尾だけ捨てて逃げるためのものかもしれません。とにかく残った骨は切除し、焼酎にて消毒し



ると確かに尾が半分、皮膚、毛と共に抜け落ち、骨だけが残っていました。一般にリスでは尾の毛や皮膚は簡単に取れますが、

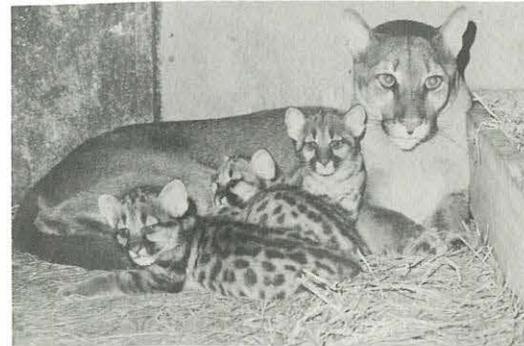


うずら	17日	やまどり	24日
こじゆけい	18日	くじゃく	28日
ほろほろちょう	28日	にわとり	21日
さんけい	24日	あひる	29日
きんけい	24日	がちょう	32日
ぎんけい	24日	(飼育ハンドブックより抜萃)	
きじ	24日		

(宮下 実)

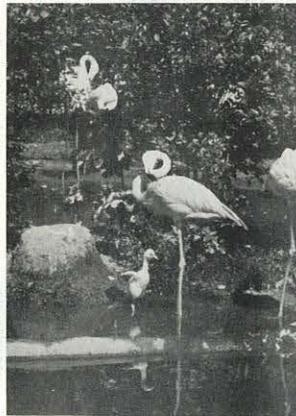
☆ピューマの出産

4月28日に3頭のピューマが誕生しました。母親は昭和46年8月に本園で生まれたもので、初めてのお産でしたが3頭の仔をうまく育てています。今年1月に生まれた2頭と合わせて計8頭の大所帯となりました。3頭の仔はオス2、メス1です。



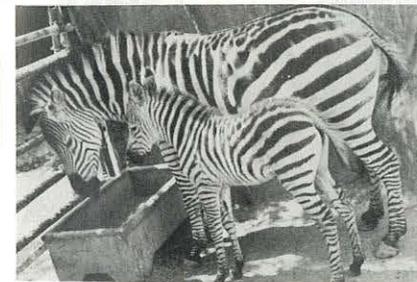
☆フラミンゴの産卵、ふ化

今年も例年通り、フラミンゴが産卵し抱卵体制に入っています。4月21日にキューバフラミンゴが産卵したのに続き、5月16日までにキューバフラミンゴが6ケ、ヨーロッパフラミンゴが1ケ産卵しました。ふ化日数は約30日で、4月21日に産卵したキューバフラミンゴがトッブをきって5月21日ふ化しました。6月の中頃には数羽のヒナがかえって歩きまわっていることでしょう。



☆シマウマの赤ちゃん誕生!

4月30日にシマウマの赤ちゃん(メス)が1頭誕生しました。名前はリルと付けられ、母親と一緒に別園にいた柵の中で育っています。生まれた時は少々虚弱気味で心配させられましたが、その後順調に育っています。



☆ハナグマの赤ちゃんのお目見得

先月号でお知らせしたハナグマの赤ちゃん(2頭共メス)が、最近母親のチチと共に日光浴に出て来てお客さんの目を楽しませています。4月8日に生まれて以来寝

室にとじこもりきりでしたが、狭い寝室では退屈なのか盛んにチョロチョロと出て来て、走り回っています。名前はベベとビビと付けられました。

☆トムソングゼル入園

トムソングゼルが1頭(オス)入園しました。まだ子供で、もう少し体力が付いたところでカモシカ園に放すことになるでしょう。

☆ゾウの目方を計る会

第25回のゾウの目方を計る会が5月5日の子供の日に行われました。当日は大島大阪市長も来られ、多数のお客さんの見守りの中でゾウのヒロコとユリコの体重が計られました。ヒロコは昨年より280kg増えて1340kg、ユリコは130kg増えて3780kgありました。

☆ペンギン、冷房室へ移動

5月に入って温度計もぐんぐん上昇してきたため、5月16日フンボルトペンギンを除く全てのペンギンを冷房室へ移動しました。最近の暑さにバテ気味だったキングペンギン、イワトビペンギン、ケーブペンギン、マゼランペンギンなどは17℃前後の快適な温度に大喜びでした。

☆最近の保護動物

4月末にキツネが1頭、タヌキが1頭保護されて来ました。キツネの方は未だ3ヶ月程度で、フックと名付けられてかわいがられています。5月に入ってアオバズクが5羽、ムササビが4頭、ノウサギが1頭保護されて来ました。ムササビは富田林と東大阪でそれぞれ2頭ずつ保護されたもので、まだ離乳前のため早速係員が特別製の哺乳ビンを作ってミルクを飲ましています。



☆フンボルトペンギンのヒナお目見得
3月31日にふ化した2羽のフンボルトペンギンのヒナが、5月末位から巣から出て来て池の中を泳いでいる姿が見られるようになりました。親の羽の模様とはまだ全然違い、別種のペンギンみたいです。



◇お知らせ◇

6月から動物園に休園日がもうけられ開園時間も変わりました。

休園日 12月29・30・31日
毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)

開園時間 3月~10月 9時30分~5時
11月~2月 9時30分~4時30分
閉園30分前に、入場券の発売を終ります。

なぎごえ 昭和49年6月15日発行 (毎月1回15日発行) 第10巻第6号(通巻107号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

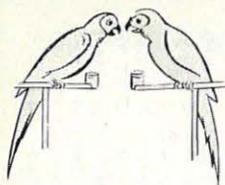
〒543 大阪市天王寺区玉水町2

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

電話 大阪 (06)771-0201

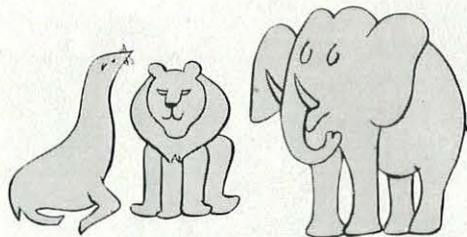
印刷所 / 株式会社 松村善進堂

振替口座 大阪 37823
定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各140cc.=70円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈小谷 潔・林 邦彦・大野尊信・米田敏光・樽本 勲・田上 勝〉
 〈中川道朗・農本武志・深井和美・東 政宏・宮下 実〉